



三井みわこ

なでしこ力!!

千葉市議会議員（中央区選出）

市議会便り No.15

議会報告

平成27年第2回定例市議会一般質問

先の千葉市議会議員選挙で、中央区の皆様にご支援いただき、市議会にお送りいただいた三井みわこでございます。去る6月8日から23日まで、平成27年第2回定例会が開催され、最初の一般質問をいたしました。

私は、議会を通して、市民の皆様の声、現場の声を千葉市政に届けて参ります。また、議会改革を押し進めている今、議会は市政において「なぜ、そうなのか」ということを、住民の皆様に対して説明する責任があります。その意味でも、三井は市民の皆様に託された者の一人として、責任を持って議会で積極的に提案をして参ります。今後も、市政に対するご意見・ご要望を、是非、お聞かせていただければ幸いです。



障害者支援施策について

相談機関の充実を図っている例として、広島市は、身体、知的、精神等の障害の枠を超えて、障害者の総合的な相談に応じる「基幹障害者相談支援センター」を開設し、障害者やその家族、関係者が相談しやすく、総合的に対応できる体制を整備し、適切な障害福祉サービスや、様々な社会資源の提供や調整・斡旋、権利擁護のための援助など、市中の相談支援事業所と連携を図りながら、必要な支援を行っています。

Q 基幹型センターに関しては、厚生労働省の資料でも示されておりますが、その役割や意義について、当局はどうのように認識されているのか、伺います。

A 基幹相談支援センターは、障害者総合支援法第77条の2において「地域における相談支援体制の中核的な役割を担う機関」とされております。

具体的には、障害者からの相談への対応のほか、必要な情報提供や助言等を行うことに加え、相談支援を行っている他の事業所や関係機関との連絡調整などをを行うものとされており、身の回りの困りごとから専門的な内容まで多岐にわたる障害者からの相談に応じていく体制を構築するにあたって、その中心的役割を果たすものと認識しております。

Q 「基幹型センター」を、本市においても設置されることは如何かと思いますが、当局のご見解を伺います。

A 本市には「基幹相談支援センター」と位置付けられる単体の相談機関はありませんが、各区に整備した「障害者相談支援事業所」を中心に、相談支援を行っているその他の事業所や各保健福祉センター等の関係機関で構成される「障害者自立支援協議会」での協議などをとおして、支援レベルの向上や連携基盤の強化を図っております。

今後も、障害者や介助者の高齢化などにより相談支

援に対するニーズが高まることが見込まれることから、「障害者相談支援事業所」を中心とした相談支援体制の一層の充実に取り組む一方、「基幹相談支援センター」の設置の必要性についても検討して参ります。

Q 次に、短期入所について伺います。本市の短期入所の現状並びに今後の取組みについて、当局の見解を併せて伺います。

A 本市における短期入所サービスの整備数は、障害福祉計画において策定した利用見込に沿って進捗しております。

一方で、障害者や介助者の高齢化を背景に、利用者数が年々伸びてきており、申込が集中する休日等において利用ができないというケースが生じております。

このことから、事業者を対象とした説明会の開催のほか、新たに事業を開始することを検討している法人等を対象に、「障害者支援版起業塾」を実施し、事業運営上のノウハウや必要な情報を提供することで、事業への新規参入を促しているところです。

東京オリンピック・パラリンピックに向けたおもてなしと集客観光について

Q オリンピック・パラリンピックに向けたボランティア機会の充実の方向性として、本市の通訳ボランティアの現状と今後の取り組みについて、伺います。

A 通訳ボランティアの現状ですが、千葉市国際交流協会には、現在、約340人の方々が登録されております。

本市では、オリンピック・パラリンピックを見据え、「おもてなし」の充実を図るために、より実践的でコミュニケーション能力が高い人材の育成を目指して、新たに「通訳ボランティア・スキルアップ講座」を開催することとしており、今年度は、英語、中国語、スペイン語の3コースを順次開設いたします。

今後の取組みですが、講座修了者に対する実践の場の提供や自主学習グループ化の促進など、効果的なフォローアップに努め、5年間で300人程度の通訳ボランティアを養成して参ります。

Q 千葉市の多言語対応への準備は、現在、どのようになされているのか、伺います。

A 千葉駅周辺の案内板などを日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語表記としたほか、英語、中国語、韓国語に対応した観光ガイドを作成し、市内各所で配布しております。

Q 訪日外国人が日本滞在中に感じた不便な点として、無料公衆無線LAN環境が十分でなく、外国人旅行者の不便・不満な点として挙げられますが、現在、環境の整備に取り組んでいる幕張新都心の状況について、伺います。

A 幕張新都心の魅力向上に必要な情報インフラとして、訪日外国人の利便性向上に向け、平成26年度に、JR海浜幕張駅南口および北口広場をサービスエリアとした公衆無線LAN環境を整備したところです。

Q 市民自らが感じた魅力を発信できる仕組みが必要と考えますが、このような仕組みの現状について伺います。

意見 要望

相談支援では、特に、サービス利用中断者やサービスに結びついていない方の対応、更には、従来の制度では対応困難な方に対する相談支援は重要な課題であると思います。一般相談支援の現場では十分対応しきれていない現状が見えますので、当局におかれでは、しっかりと各相談機関と連携して、市としての役割、やるべきこと、責任を果たしていただきたいと思います。障害のある方が、地域で安心して生活できるよう、相談支援体制の充実・強化を踏まえ、改めて基幹型センター設置を要望させていただきます。

本市では、障害者の短期入所サービスが不足しています。また、医療のケアの必要な方、強度行動障害の方、重症心身障害といった特定の障害を持つ方は、それ以上に短期入所を利用しにくい状況にあります。今後、地域で生活する障害者の各ニーズに合わせた、事業所の整備も必要ではないでしょうか。当局におかれでは、その点を十分配慮するようお願いします。

障害者施策におきましては、当事者の声をよく聞き、計画に反映させることが、何より重要です。計画の策定に合わせ、事前の実態調査で得られた当事者、家族、関係団体の意見を取り入れ、かつ十分留意しながら、計画を推進していただきたいと思います。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、外国人旅行者に日本人の「おもてなし」の



- 1971年：生まれ 千葉市中央区登戸在住
- 2002年：NPO法人ハートケアゆーあい（障がい者の施設）設立
- 2003年：聖徳大学大学院 児童学研究科 修士課程修了
- 2006年：NPO法人政策塾「一新塾」（熊谷市長と同期）卒塾
- 千葉県教育戦略ビジョン策定作業部会委員
- 2007年：社会福祉法人「白雪会」の理事に就任、軽費老人ホーム「ほんだくらぶ」の運営に携わる
- 2008年：ちばCO2CO2ダイエット推進／県民会議 委員
- 2010年：千葉市「新市民計画策定のための市民ワークショップ」委員
- 2011年：千葉市議会議員選挙 初当選
- 2013年：都市建設委員会副委員長
- 2015年：千葉市議会議員選挙 2期目当選

A 本年2月の、市ホームページのリニューアルに合わせ、トップページ及び各区トップページに、「ジモバナトピックス みんなが投稿する千葉市の魅力」というコーナーを設けました。また、5月から運用を開始した新たなツイッターアカウントで、市政への親しみを醸成する目的で、市民との双方向のコミュニケーションを開始しており、市民が感じる市の魅力についても、その発信を促す取組みの試行を始めました。

さらに今後、ちば市民協働レポート「ちばレポ」において、市民が勧める市内の風景などの市の魅力を写真付きでレポートし、地図上に表示する「おすすめレポート」も開始する予定です。

Q 外国では、Web動画による観光PRが効果的であるとされていますが、そのような新しい視点、ソーシャルメディアを取り入れていく考えはございますか

A 今年度は、関連イベントに合わせ、動画等共有サイトのインスタグラムやフェイスブックを活用した、本市の魅力を発掘するための動画・写真投稿キャンペーンを実施したところであり、今後とも、ソーシャルメディアを活用した、市民等からの魅力発掘・発信や、効果的な観光PRに努めて参ります。



精神を伝えるには、現在の千葉市では改善すべき点、課題が山積みです。

集客に際しては、海外の観光客の目線に立った「おもてなし」がまさに必要です。その例が、ホームページや観光名所の案内標識や観光マップ等の多言語表示や、無線通信環境の充実といった点です。

更には、海外向けのプロモーション活動や、国内外のホテルとの連携強化などによる外国人受入れ環境の整備も重要であり、特に、コールセンターの外国人に向けた対応体制の強化は、当然やるべきことです。

これら、おもてなしの体制づくりは、産官学やNPOやボランティア団体、市民をも含めた有機的な連携が必要になって参ります。そのような連携により、ファミリー層、若年層、中高年層、さらには県外、市外、国外といった様々な観光客のニーズ、ターゲットに応じた効果的な情報発信を行い、当局における推進体制と相乗効果が期待できる観光まちづくりを推進していくべきと存じます。

最後に、オリンピック・パラリンピックを契機に、観光需要が多くなれば千葉市にとって、消費拡大のチャンスに繋がります。心より、千葉市がアジアの中の観光都市の一つだと言えるようになっていただきたいと思っておりますので、是非、観光部門の組織及び予算面においても強化をお願いします。

ご意見ご要望がありましたら、
下記の連絡先までよろしくお願いします。

- E-mail : mm@mitsui-miwako.com
- Twitter ID : 三井美和香
- 発行 : 三井 美和香
- TEL : 043-216-5432
- FAX : 043-216-5433
- 千葉市中央区登戸 1-11-13-203

三井みわこ
で検索!